

平成27年 8月28日

宗像市議会

議長 吉田 益美 様

総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会

委員長 末吉 孝

委員会調査報告書

本委員会は、下記のとおり調査しましたので、宗像市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

【総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会の設置目的】

現在、検討が進められている「宗像市総合スポーツセンター」（以下、「総合スポーツセンター」という。）が、市民のニーズを十分に、そして、的確に捉えた施設となるよう、議会独自の調査機関として「総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会」（以下、「特別委員会」という。）を設置し、総合スポーツセンター整備に関して必要と認める事項を調査研究する。

【調査の経過】

平成26年10月15日の第1回特別委員会から、勉強会等内部協議を含め、11回の会議を行った。市内、既存3体育館の現地調査、類似体育館の現地視察を実施。建設計画に伴う施設規模、建設候補地、財政負担の問題、また、既存3体育館の在り方等についても協議するとともに、宗像市総合スポーツセンター整備審議会の進捗状況を、その都度、確認しながら調査を行った。

1 第1回特別委員会（平成26年10月15日）

市内の既存3体育館の施設概要確認、現地調査を行った。

（1）市民体育館

竣工 昭和57年

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

延床面積 3,682.77㎡

施設概要 アリーナ（バスケットコート2面）観客席200席

1,477.44㎡

体育室（A、B、C）745.38㎡

駐車場 232台

（2）勤労者体育センター

竣工 昭和55年

構造 鉄筋コンクリート造、一部PC造

延床面積 792.50㎡

施設概要 アリーナ（バスケットコート1面）観客席なし

644㎡

駐車場 87台

（3）玄海B&G海洋センター

竣工 昭和55年

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

延床面積 1,103.11㎡

施設概要 アリーナ（バスケットコート1面）観客席なし

699.6㎡

駐車場 約80台

2 第2回特別委員会（平成26年10月17日）

山口県防府市体育館の施設概要、現地視察を行った。

防府市体育館（ソルトアリーナ防府）

竣 工 平成22年

総事業費 約37億円

構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

延床面積 11,433.22㎡

施設概要 メインアリーナ（バスケットコート3面）

観客席1,000席（固定）

2,242㎡

サブアリーナ（バスケットコート2面）

1,050㎡

トレーニング室、軽運動室3室、会議室3室、控室4室

キッズルーム 1,193㎡ 他

駐 車 場 約800台

3 第3回特別委員会（平成26年11月25日）

- ・既存3体育館の大規模改修実績（平成20年度以降）について
- ・既存3体育館の今後の改修時期、概算費用、耐用年数について
- ・総合スポーツセンター整備に係る審議経過について
- ・第2回宗像市総合スポーツセンター整備審議会の報告

4 勉強会（平成26年12月22日）

- ・今後の委員会の進め方等について
- ・現状の課題整理、資料要求の確認

5 第4回特別委員会（平成27年2月19日）

- ・第3回宗像市総合スポーツセンター整備審議会の報告
- ・総合スポーツセンター整備スケジュールについて
- ・近隣市（太宰府市、春日市、大野城市）屋内スポーツ施設との比較
- ・建築工事費シミュレーション比較確認
- ・市民体育館の大規模改修（観客席設置）の検討について

- ・建築工事費、財源内訳、総トータルコスト（50年間）の財政計画について

6 進捗状況確認（平成27年4月23日）

- ・総合スポーツセンターの定義、規模等について
- ・PFI方式に向けての導入可能性調査について
- ・社会資本整備総合交付金の制度変更について
- ・今後のスケジュールについて

7 勉強会（平成27年5月28日）

- ・今後の委員会の進め方等について
- ・現状の課題整理

8 第5回特別委員会（平成27年6月18日）

- ・第4回宗像市総合スポーツセンター整備審議会の報告
- ・施設規模、整備候補地、財源問題、PFI方式等について

9 第6回特別委員会（平成27年7月28日）

- ・第5回宗像市総合スポーツセンター整備審議会の報告
- ・第6回（第6回修正分含む）宗像市総合スポーツセンター整備審議会の報告
- ・今後の委員会の進め方等について
- ・施設規模等の抜本的な見直しの報告

10 勉強会（平成27年8月3日）

- ・執行部の抜本的な見直し発言を受けての課題整理
- ・委員会報告書作成に向けての意見集約

11 第7回特別委員会（平成27年8月21日）

- ・委員会調査報告書のとりまとめについて

【提 言】

総合スポーツセンター建設計画、施設規模1万㎡、総事業費62億円にあたっては、当初、財源として建築工事で「社会資本整備総合交付金」（以下「交付金」という。）19億2千万円を見込んでいたが、今年4月、国の制度改正に伴い、交付金の確保が困難となる問題が発生した。

このことにより、総事業費62億円のうち、一般財源が当初計画の16億円から33億円に倍増する見通しとなった。

このまま、計画どおりに総合スポーツセンターの建設を進めた場合、本市の財政運営に大きな負担を与える。

そこで、本特別委員会として以下の項目を提言する。

- 1 財政面から総合的に判断した結果、今回の総合スポーツセンター建設計画については、抜本的な見直しを求める。
- 2 建設時期については、現在、東日本大震災からの復興、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、建設資材の価格高騰や職人不足による建設工事費の高騰が予想されるため、市場調査を十分に行い建設時期についても考慮すること。
- 3 建設を行う際は、以下の点に努めること。
 - (1) 建設後の維持管理費を含め、本市の財政状況に応じた施設内容とし、既存の公共施設との連携、相乗効果を図り、施設に求められる機能や品質を確保しながら、最小限の費用で最大限の効果が得られるようにすること。
 - (2) 市民ニーズの調査、意見集約を十分に行うとともに、将来の財政負担についても、市民に丁寧に説明を行うこと。
 - (3) 一つひとつの工程をきちんと踏まえ、施設整備の候補地についても、交通の利便性、安全性を考慮し、多くの市民に利用されるような施設となるようにすること。

4 既存の3体育館の在り方については再検討を行うこと。

5 今後、公共施設の大規模な更新等に要する資金については、毎年、計画性をもって積み立てを検討すること。